

# **「グローバルキャリアを目指す」**

## **第2部**

- 1. 「グローバル化」は終わってしまうか？**
- 2. 「グローバルキャリア」の楽しみは何か？**
- 3. 「グローバル」= 「海外」か？**
- 4. これからの「働き方」はどうなる？**
- 5. 「新常態」の世界にどう備えるか？**
- 6. 自分の思考力・判断力を高めるためには？**
- 7. 受動的アプローチと双方向アプローチ**
- 8. 新しい時代を生き抜くために**

# 「グローバル化」は終わってしまおうか？



- 「**自国第一主義**」は結局自分を危うくするだけ。



- **オンライン化の進行は、住む場所、働く場所の意味を薄める。**



- **その結果、グローバルな働き方は今後とも一層進む。**

# 「グローバルキャリア」の楽しみは何か？



• **グローバルな視点を持ち、国境を意識せず働く**



• **簡単ではないが、スケールの大きさ、充実感が格段に違う。**



• **共通言語、共通ツール、共通の使命感**



• **優秀な人材と対等に働ける楽しさ**

## 「グローバル」 = 「海外」 か？

• 「オンライン」 は世界とつながいを強める

国内でも「グローバル」な活躍は 必要であり かつ可能となる

また、外国人の上司、部下、取引先との仕事も増える可能性大

「内なるグローバル化」が進む

# これからの「働き方」はどうなる？

1. 我が国の場合、グローバル化に加え、少子高齢化、デジタル化も進行し、今後の雇用制度・慣行は様変わりとなる。
2. 新卒一括採用、終身雇用、年功序列制、定年制等は、いずれ死語となる。
3. 実力主義・多様性のある世界が「新常态」となる。  
(採用時期、職業選択、人生設計等を含め。)

# **「新常态」の世界にどう備えるか？**

- 1. まず、自分の考えを持つ。**  
**(自分はどのような人間かを知る)**
- 2. その前提として多様な情報・意見に触れる。**  
**(自分のComfort zone から脱する。)**
- 3. 自分の将来のための投資を自ら見極め、決断し、挑戦する。**  
**(会社に頼らず、生涯学習のすすめ。)**

**自分の思考力・判断力を高めるためには、**



**読む力 と 聞く力 が求められる。**

# 受動的アプローチ

著者または話し手の  
言うことを  
そのまま読み・聞く

その場合、  
受け手の分析・判断は  
不要となる



# 双方向アフローキ



**著者または話し手に対して  
質問を投げかけ、思索する。**

**そのことを通して、  
自分の考えを形成し、深める。**

# 新しい時代を生き抜くために

## 1. 自分の直感に従う勇気を持つ。

“Have the courage to follow your heart and intuition. They somehow already know what you truly want to become. Everything else is secondary.”

*Steve Jobs, Stanford University, 2005*

## 2. 「持続可能性」と 「復元力」が重要となる。

(一国経済であっても、個人であっても同じ。)